

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

計画の名称：周南市における安心安全を実感できる水環境の実現(防災・安全)

事業主体名：周南市
チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
③関連する各種事業制度の計画等と整合性が確保されている。	—
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
⑤十分な事業効果が確認されている。	○
⑥効果促進事業は目標達成に資する内容である。	—
III. 計画の実現可能性	
①全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
②関連する機関との調整が図られている。	○
③交付期間中の計画管理(モニタリング・中間評価)を実施する予定である。	○

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標1】	都市浸水対策達成面積を776.4ha(R2)から781.6ha(R6)に増加させる。
-------	--------------------------------------------

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和2年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	都市浸水対策の整備対象地域の面積(3,655ha)のうち、概ね5年に1度起こると予想される規模の大雨に対し、整備が完了している区域の面積を算出。(776.4ha)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和7年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	令和6年度末時点の事業実績により、整備済み面積を算出。(当初現況値と同様。)
⑪評価値の求め方	令和6年度末時点の事業実績により、整備済み面積を算出。(776.4ha + 5.2ha = 781.6ha)

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標2】	管渠に係るストックマネジメント計画等による改築延長を2989m(R2)から4164m(R6)に増加させる。
-------	-------------------------------------------------------

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和2年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	令和1年度末時点で、管渠の布設替え・更生等で改築を実施した延長を算出。(2.9km)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和7年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	令和6年度末時点の事業実績により、整備済み面積を算出。(当初現況値と同様。)
⑪評価値の求め方	令和6年度末時点の事業実績により、改築を実施した延長を算出。(2.9km+1.2km=4.1km)

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標3】	ストックマネジメント計画に基づき、処理場設備の長寿命化対策済割合を0%(R2)から100%(R6)に増加させる。
-------	----------------------------------------------------------

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和2年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	ストックマネジメント計画に基づく対策が必要とされる設備数(10設備)に対する対策済設備数の割合で算出。(現況値: 0設備/10設備=0%)。 対象設備:【徳山中央浄化センター】6設備(管理棟(汚泥処理設備)、汚泥処理設備、管理棟(汚泥処理棟)、管理棟(管理本館)、監視制御設備)、【徳山東部浄化センター】2設備(管理棟(汚泥処理設備)、汚泥脱水設備)、【新南陽浄化センター】2設備(管理棟(管理本館)、監視制御設備)【鹿野浄化センター】(監視制御設備)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和7年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	処理場のストックマネジメント計画による、11設備に対する対策予定設備数の割合を算出。 (10設備/10設備=100%)

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標4】	長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場設備の長寿命化対策済割合を0%(R2)から100%(R6)に増加させる。
-------	-------------------------------------------------------------------

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	令和2年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づく対策が必要とされる設備数(6設備)に対する対策済設備数の割合で算出。(現況値:0設備/6設備=0%)。 対象設備:【野村開作排水ポンプ場】6設備(雨水ポンプ設備(4設備)、負荷設備、受変電設備)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	令和7年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	ポンプ場の長寿命化計画及びストックマネジメント計画による、6設備に対する対策予定設備数の割合を算出。 (6設備/6設備=100%)

※必要に応じて資料を添付してください